

第9回全国高等学校情報教育研究会全国大会(神奈川大会)第2分科会【B】
平成28年8月9日(火) 専修大学生田キャンパス

高校生が先生にSNSを教える 画期的な取組

～「高校生によるSNS講座」を実践して感じたこと～

神奈川県立鶴見高等学校
教頭 柴田 功

発表者 自己紹介

平成12年 新教科情報現職教員等講習会参加

平成13年 神奈川県立川崎北高等学校で
情報科必修化先行実施
Webサイト「情報科.net」開設

平成16年～神奈川県立総合教育センター指導主事

平成21年～神奈川県教育委員会高校教育課指導主事

平成28年～神奈川県立鶴見高等学校教頭
中央教育審議会専門員初等中等教育分科会情報ワーキング委員
神奈川県高等学校教科研究会情報部会副部長

<http://www.johoka.net>

過去の遺産（現在は更新していませんが、まだ見ることができます）



新教科「情報」授業アイデア集
<http://www.johoka.net/>

情報科.net



★LAST UPDATED 2004.7.4★

★SINCE 2000.9.27★

882726

柴田 功

E-mail: isao@johoka.net

[高校サッカー通信](#) / [川崎北高校](#) / [総合教育センター](#) / [情報部会](#) / [掲示板](#) / [自動リンク](#) / [リンク集](#)

2001年度から前倒し実施している川崎北高校の「情報A」の授業指導案、教材プリント、プレゼンテーション、生徒の作品等を公開しております。
また、2003年度からは専門教科「情報」の「アルゴリズム」、「コンピュータデザイン」を選択科目で実践している内容も公開しております。

★サイト内検索

Google™

Google 検索

- WWW を検索
 www.johoka.net を検索

★TOPICS

- 高知県・福岡県・佐賀県教育センターに伺います (7/4更新)
- 「情報A」履修後アンケート結果アップしました (3/21更新)
- 教科「情報」失敗事例・掲示板開設しました (2/10更新)
- 元素の周期表をつくらう (2/10更新)
- 表計算ソフトウェアを活用しよう3、2、1 (2/2更新)
- 情報科「実践事例」バトル！開設しました (2/1更新)
- 正弦波を描いてみよう (1/28更新)
- 2003年度生徒の作品公開開始 (1/26更新)

★指導計画・予定表

- 情報A
- コンピュータデザイン
- 情報と表現
- アルゴリズム
- 理科総合B

- 2003年度1・2・3学期・担当者
- 2002年度1・2・3学期・年間

★Webページ作成

- メモ帳でWebページを作ろう
- HTML基本タグ
- ホームページを作成しよう・導入編
- ホームページ作成の準備
- ホームページビルダーの画面
- 自己紹介のページを作ってみよう
- 公開前にWebページを点検しよう
- 生徒のWebページ作品

★座学

- 「情報モラル」について考えよう
- 「情報モラル」の指導案
- コンピュータ概論
- 授業オリエンテーション
- パソコン経験アンケートの結果
- パソコン経験アンケート
- パソコン経験アンケート2
- 「情報A」履修後アンケート結果

神奈川県立川崎北高等学校 情報科 29期「情報A」・年間指導計画

川崎北高校では、2001年度より教科「情報」を先行実施しております。
ここでは、川崎北高校の29期生(2002年度入学)の「情報A」の取り組みを紹介します。

2004.4.4更新

[TOPページへ戻る](#)

■ 2002～2003年度「情報A」 ■

必修科目「情報A」1年生1単位、2年生1単位 計2単位

○:関わる。◎:関わりが大きい

学期	回	授業内容	問題解決	情報伝達	情報検索と収集	情報発信と共有	情報モラル	情報の統合	情報機器と生活
1学期	1	オリエンテーション・アンケート							
	2	キータイピング練習 がせきワープロ検定	○	○					
	3	電子メールを活用しよう		◎					
	4	インターネットで検索しよう			◎				
	5								
	6								
	7	オリジナル名刺を作る	○	○					
	8								
	9								
	10	情報モラルについて考えよう				◎			◎
	11	期末試験	○	○	○	○	○	○	○

川崎北高校28期 Webページ

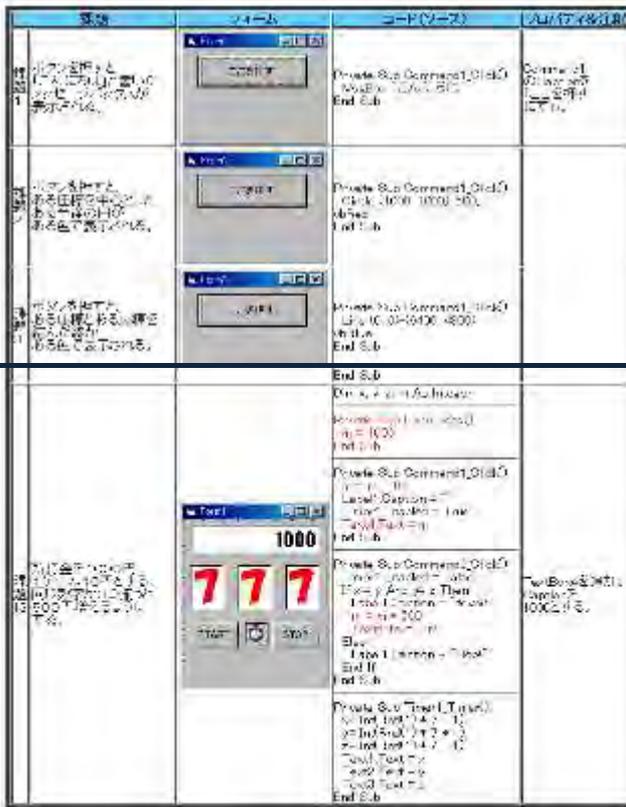
このページは川崎北高校28期生が「情報A」の授業で作成したものです。
文化祭、体育祭、進学祭などの思い出写真とてみました。どうぞご覧下さい。
28期/2年生1組・2年生2組・2年生3組・2年生4組・2年生5組
27期/A組・C組・E組・F組
10期/20期/24期/25期/26期/27期生ホームページ

■ 2年1組 ■



スロットマシンを作ろう!

画面の右下に記述した、簡単なプログラムが2体動かしなさい。



isao electric



さて、
こんな情報科教員のつぶやき
聞いたことありませんか？

ある情報科教員のつぶやき

SNSは使っていないけど
しくみを知っているのでそれで十分。



SNSで特に発信するものは
ありません。



SNSは使っているけど、
見るだけで発信はしていません。



生徒の想い（この発表で伝えたいこと）

先生たちもSNSに興味を持ってほしい
できれば使ってほしい



SNSの問題など相談できる
身近な大人であってほしい



教員が情報社会を生き抜く
手本を見せてほしい



1. なぜSNS講座を実施したのか

かながわハイスクール議会2014
第5委員会／情報化社会



第五委員会/情報化社会
委員長

- ・ SNSの利用目的やモラルについて、インターネット世代とそうでない人の意識の差がある。
- ・ インターネット世代でない大人による情報教育が行われている。

政策を提言します。

- ・ 情報議会及びSNS講座の設置・運営
- ・ 学校及び生徒への広報
- ・ 議会で作成した教材の配布
- ・ 授業成果の確認

1. なぜSNS講座を実施したのか

SNSを使う児童・生徒



ネットいじめや
犯罪に巻き込ま
れるなど
トラブルが多発
している。

しかし

SNSを使わない教職員



新しいツールを
使わないため
児童・生徒の実態
を把握できない。

そこで

その問題の解決を図るため 高校生による「情報議会」設置



平成26年11月22日
県内の高校生24名
を情報議会委員
として委嘱。
SNS講座の準備
を開始。

そして

高校生による SNS講座を実施

ついに



高校生による
SNS講座を実施
し、児童・生徒
の実態に即した
情報モラル指導
を行えることを
めざします。

2. どんな講座だったのか

神奈川県内

公私立・男女・1～3年生と
様々な高校生が講師に名乗り

2. どんな講座だったのか

講師募集 10月

第1回情報議会 11月

第2回情報議会 12月

第3回情報議会（情報部会でリハーサル） 12月

第4回情報議会 1月

第5回情報議会 3月

第6回情報議会 3月

高校生によるSNS講座（本番） 3月

SNSで情報共有

クラウドで情報共有

根本

かたがたが
明確に存在

客観視

内容

内容

具体的な
指示

班毎の
主張の
ズレを
こくす

教員
深さの差

内容の
重複

内容の
ぶらつき

基準
の
不明

聞くが
立場に
よって
異なる

資料の
見やすさ

PR画面の
見やすさ

他班の
講義を
聞けた

「授業の
流れ」を
見ると
わかる

方向性は
そろえて
いるが
内容が
違う

10-15分

困惑

高校生
さん

単独
研究
像が
よく
分
らない

根本
の
問題

時間
が
足りない

分
からない
教員
目標の
SNS
指導

使っ方の違い(先生・生徒)
、
生徒も先生も共通の理解×
、
正しく理解してもらう

メリットの理解 — デメリットをおしおぎ

理解差なくす

研修

SNSの
完全対策

多音に
きえる

アプリの認識
匿名性
認識の差
又双方向性
どこまでか
個人情報?
GPS
位置情報

認識の差
不透明

認識の差
言ハ心言識の差

2. どんな講座だったのか

研修講座シラバスの一部抜粋

平成26年度 研修講座シラバス

研修の種類	希望研修	コンセプト	課題解決力向上
-------	------	-------	---------

1 研修講座名

事業名	かながわハイスクール議会2014政策提言に基づく研修
講座名	高校生によるSNS講座
対象	県内公立・私立の高等学校・中等教育学校・中学校・小学校・特別支援学校の教職員 <small>※定員に満たない場合は、県外の高等学校・中等教育学校・中学校・小学校・特別支援学校の教職員も参加できます。</small>
定員	60名

2 研修目的・日数

目的	日数
情報社会の進展により急速に普及しているSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について、その利用上の問題点や望ましい利用方法を、高校生との協議により理解を深め、情報モラル指導に必要な知識と技能を身に付けます。	0.5

2. どんな講座だったのか

研修講座シラバスの一部抜粋

日付・会場	ねらい (身に付けたい資質・指導力)	形態・時間	内容	講師等
平成27年 3月26日(木) 13:30～ 16:30 神奈川県立 総合教育 センター 善行庁舎 西棟2階 情報教育 A研修室	【課題】 高校生のSNS利用の実態を理解し、情報モラル指導に必要な知識と技能を身に付ける。	講義 50分 13:30～14:20	「高校生のSNS利用実態Q&A」 教員が持つSNSについての疑問に情報議会委員の生徒が説明します。	高校生による 情報議会委員
	【課題】 高校生のSNS利用について、その問題点を把握し、具体的な事例について、生徒に適切な助言ができるようにする。	協議・実習 90分 14:30～16:00 (途中休憩あり)	「事例検討・こんなときどうする？SNS利用」 実際にあったSNSに関する事例について、教員と生徒が一緒になって適切な指導方法を協議します。	
	【課題】 SNS利用について、子どもたちからの相談に応じることができるよう、実践力指導力を身に付ける。	講義 30分 16:00～16:30	「SNSに関する情報モラル指導の在り方について提案」 高校生から教員にSNSに関する情報モラル指導の在り方を提案します。	

2. どんな講座だったのか

高校生によるSNS講座

主催：神奈川県教育委員会 会場：神奈川県立総合教育センター



2. どんな講座だったのか

寸劇によるTwitterのトラブル実演

クラスの友人からカラオケに誘われるが
断わり別の友人とボーリングに行く

↓

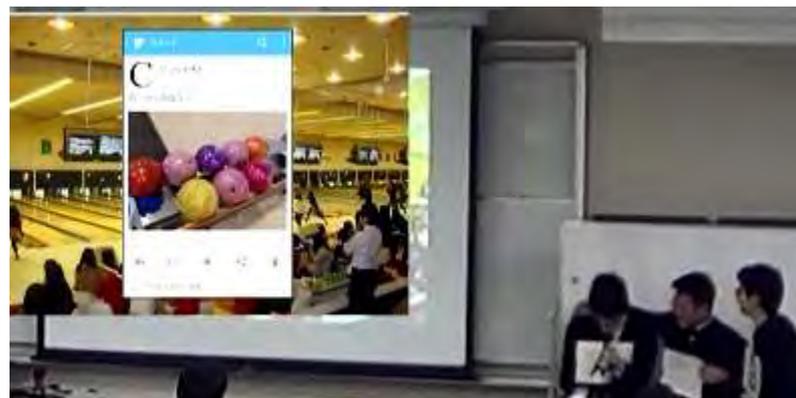
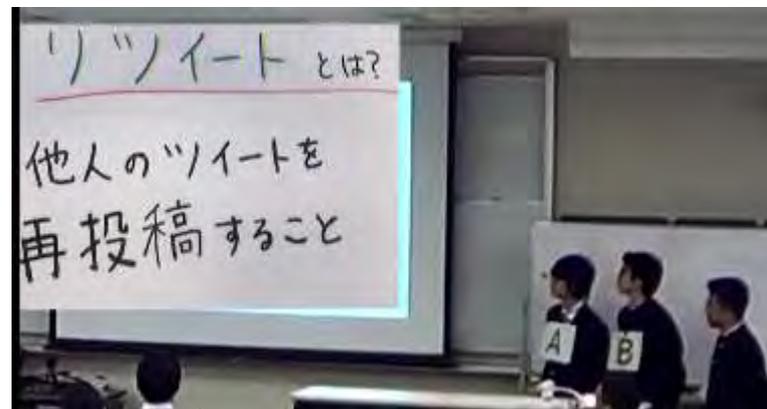
一緒にボーリングに行った友人がツイートする

↓

そのツイートが他の友人にリツイートされる

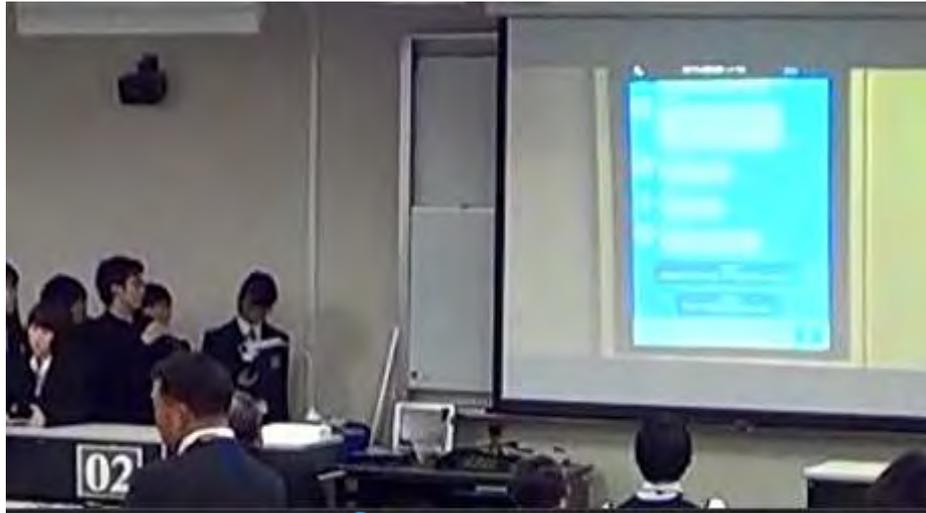
↓

カラオケを断った友人にボーリングに行ったことがばれる



2. どんな講座だったのか

LINEのグループトーク～LINEはずし



花見に行くか、イチゴ狩りに行くか
グループトークが盛り上がる

↓

突然グループから外される

↓

元に戻してもらうがイチゴ狩りに
行くことが決まっている

↓

このやりとりどう感じたか



2. どんな講座だったのか

トラブル事例についてのグループ協議



好きなアーティストのコンサートチケットを
手に入れる

↓

SNSで出会った友人とコンサートに行く
ことは絶対にいけないことなのか



2. どんな講座だったのか

また、私たち高校生は段々と大人には近づいてきてはいますが、まだまだ子供です。平日は朝学校へ向かい、授業を受け、部活や委員会・生徒会などの活動をして帰宅する私たちにとって先生方は、1日の多くの時間を同じ場所で生活しているとても身近な“大人”です。これから先、今までよりもっと相談しやすく、困ったとき・悩んだときに頼ることが出来る関係になることを望みます。

以上で「高校生のSNS利用実態Q&A」を終わります。ありがとうございました。

教員に対してリスペクトしながらも生徒目線で提言する絶妙な原稿

4. 講座では何を伝えたかったのか

先生たちもSNSに興味を持ってほしい
できれば使ってほしい

SNSの問題など相談できる身近な大人であってほしい

教員が情報社会を生き抜く手本を見せてほしい

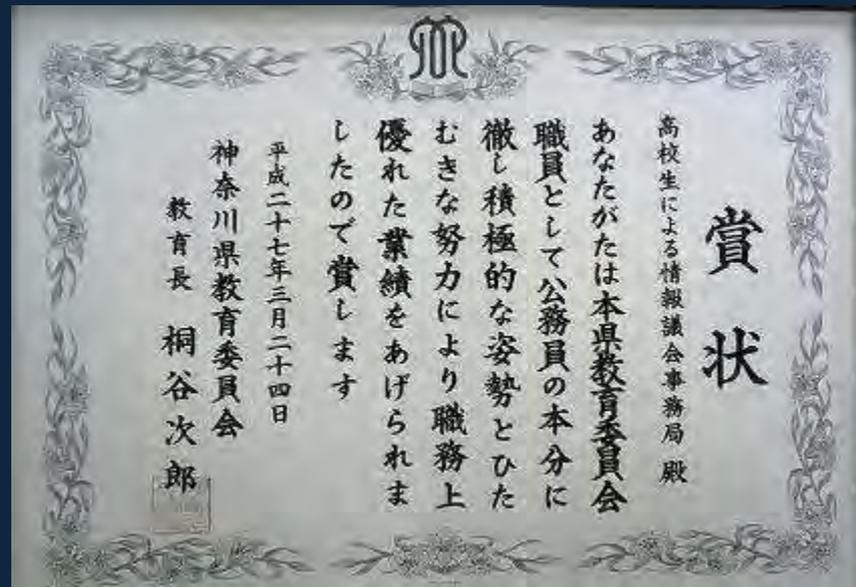
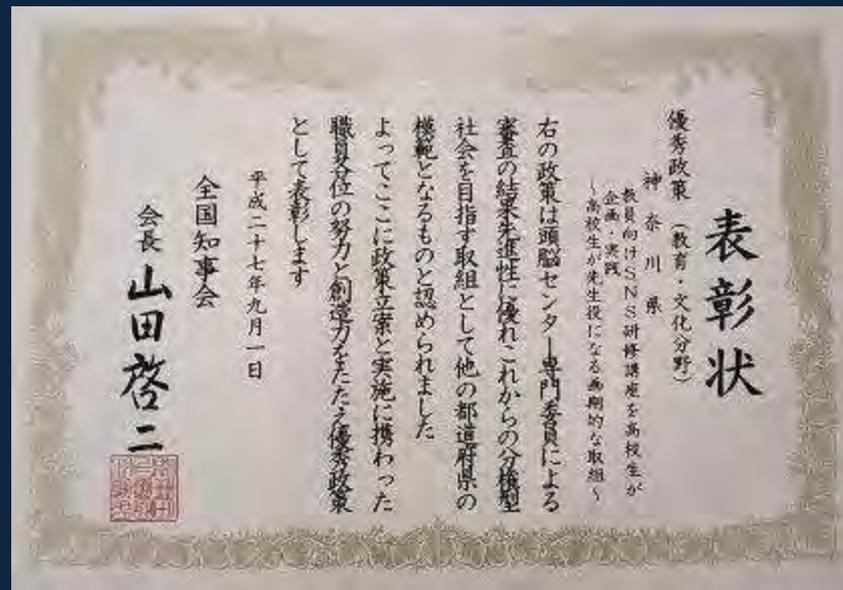
僕たち私たちと一緒に
よりよい情報社会を築いていきましょう！

この取組でたくさんの方の賞を受賞

全国知事会賞

神奈川県知事賞

神奈川県教育長賞



SNS講座の講師となった生徒が考えた 教員のSNS利用のルーブリック

段階	到達レベル（評価基準）
S	SNSを上手に使いこなし、生徒のSNS利用について、適切な助言ができる。 情報科の教員の目標
A	SNSをある程度利用しており、生徒のSNS利用について、相談に乗ることができる。
B	SNSを利用したことがあり、生徒のSNS利用について、ある程度相談に乗ることができる。 情報科以外の教員の目標
C	SNSを利用したことがない。興味がない。

5. 情報科の先生に伝えたいこと

子どもの未来を考えるなら



①大人もSNSを使う

②大人もSNSの光の部分を知る

③その上で子どもたち一緒に影の対応を考える



子どもたちと一緒にこれからの
情報社会を作っていく！

5. 情報科の先生に伝えたいこと

この取組は

・ 問題解決学習

・ 協働学習

・ アクティブ・ラーニング

であり、

普段の授業で取り組める内容である。

**情報科の教員は生徒に寄り添い
一緒になってよりよい情報社会を
つくっていきましょう！**